

3 教育課程

小・中・高・特別支援学校においては、三つの柱「基礎・基本の確実な定着を図り、伸びる力を一層伸ばす「分かる授業」、子どもの個性や地域の環境を生かす「特色ある教育課程」、共に生きる喜びや感動が生まれる「楽しい学校」、の実現に向けて、各校の実情に応じた改善を図ってきた。

本年度は、各学校における特色ある教育課程の編成と学習指導の改善充実について、実践を通して、更に研究を深めてきた。

また、児童生徒一人ひとりに確かな学力の定着と伸長を図るため、向学の気風に満ちた学校づくりを推進する中で、教育課程、学習指導の改善充実が図れるよう、資料を提供するとともに、あらゆる場と機会を通じて指導、助言に努めてきた。

(1) 小・中学校教育課程研究協議会

豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の育成を目指して、児童生徒を中心にすえた教育課程・学習指導の改善を図るために、上記の三つの柱に立って、具体的授業実践をもとにした教育課程の編成及び実施、評価にかかわる研究協議を行い、改善と教職員の資質の向上に努めてきた。

県下小・中学校全教員を対象として、市町村教育委員会、郡市校長会の協力により各郡市単位で研究協議会を実施した。

ア 全県運営委員会

委員 各郡市代表者 16 名

開催日数 2 回（4 月 23 日、11 月 24 日）

研究協議会

小・中学校教育課程研究協議会の基本方針の検討及び研究協議会の運営計画の反省と来年度の計画

イ 研究協議会

期日・会場・参加人員等

a 小学校 9 月 2 日～10 月 20 日の間の 1 日 152 会場 7,583 人

b 中学校 9 月 2 日～10 月 22 日の間の 1 日 111 会場 5,167 人

c 分科会は、国語・社会・算数（数学）・理科・生活・音楽・図画工作（美術）・体育（保健体育）・家庭（技術・家庭男女別）・外国語・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の 4～15 部会のほかに、郡市によっては、特別支援教育・人権教育・健康教育等の分科会を加えた。

研究協議題

a 授業研究を通しての研究協議

b 学習指導要領の実施に伴う諸問題及び課題に関わる研究協議

(2) 高等学校教育課程研究委員会・研究協議会

高等学校学習指導要領に基づく各教科・科目の指導内容、指導方法、評価や総合的な学習の時間及び特別活動について研究し、その成果を冊子にまとめて各校に配布した。

ア 研究委員会

委員 各教科等 14 分科会 61 名

研究内容 第 1 回 研究の趣旨・分科会の進め方について協議

第 2 回～第 5 回 各分科会における研究

イ 研究協議会

期日・会場・参加人数

北信地区 9 月 14・17 日 県庁

東信地区 9 月 15・18 日 佐久勤労者福祉センター

南信地区 9 月 7・8 日 伊那市生涯学習センター

中信地区 9 月 10・11 日 長野県総合教育センター

参加者は全体で約 1,150 人

部会

国語 地理歴史・公民 数学 理科 保健体育 芸術 外国語

家庭 情報 農業 工業 商業 福祉 総則・特別活動

参加者

公・私立高校教諭